

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

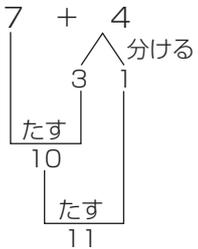
📖の数字は、教科書のページ数です。

1年 たしざん

📖 下4~14

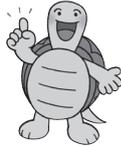
●7+4, 3+9のような、くり上がりのあるたし算ができるようにします。

〈計算のしかた〉



たされる数が10になるように、たす数を分けることがポイントです。

4は 3と 1。  
7と 3で 10。  
10と 1で 11。



くり上がりのあるたし算は、2年生のたし算の筆算につながります。たし算カードを作ったり、身の回りの数字を使って、しっかり練習させましょう。

2年 かけ算(1)

📖 下6~26

●かけ算の意味と式の表し方を知り、2のどん、5のどん、3のどん、4のどんの九九の練習をします。特殊な唱え方をする九九(二二に二が4、三三に三が9など)は、特に注意しましょう。

〔注意〕 2×5と5×2のかけ算の式の意味のちがいに気づかせましょう。

2×5…2の5つつ  
5×2…5の2つつ

答えは同じだけど、式の意味がちがうんだよ。



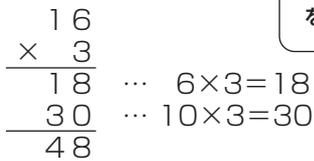
かけ算九九がわからないと、3年で学習するわり算ができません。くりかえし練習させましょう。

3年 かけ算の筆算(1)

📖 下6~18

●(2けた)×(1けた)や(3けた)×(1けた)の計算を、筆算でできるようにします。

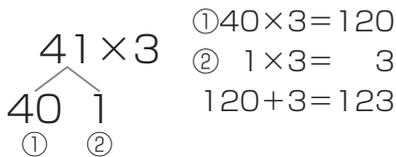
〈筆算の考え方〉



くり上げた数を忘れないで。



●かけ算の暗算のしかたを練習します。

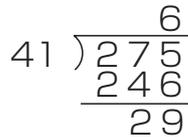


4年 わり算(2)

📖 下6~24

●2けたの数でわるわり算の筆算ができるようにします。

〔ポイント〕 ① 商の見当をつけてから計算する。  
② たてる、かける、ひくの順に計算する。



- わる数の41を40とみて、商の見当をつける。
- 商の6を一の位にたてる。
- 41と6をかける。  
41×6=246
- 275から246をひく。  
275-246=29
- 答えは、6あまり29

答えのたしかめもしておこう。  
41×6+29=275



5年 平均、単位量あたりの大きさ

📖 下6~28

●平均と単位量あたりの大きさの考え方を使って、いろいろなものが比べられるようにします。

平均…いくつかの数や量を等しい大きさになるようにならしたもの

平均=合計÷個数

こみぐあいの比べ方 ① 1㎡あたりの人数で比べる。  
② 1人あたりの面積で比べる。

人口密度… 1 km<sup>2</sup>あたりの人口のこと。国や都道府県などに住んでいる人のこみぐあいを表す。

人口密度=人口÷面積

速さ…単位時間あたりに進む道のり。

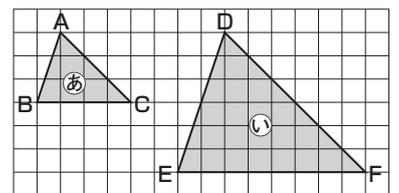
速さ=道のり÷時間

6年 拡大図と縮図

📖 126~139

●図形を拡大、または、縮小するしかたを学習し、縮尺についても学びます。

拡大図 ↔ 縮図



- 対応する辺の長さの比は等しい。
- 対応する角の大きさは等しい。

